

一般質問(2)

市内商工建設業の発展について
公園行政・バス停の設置について

小林 たつや(自民)

質問 高齢者、買い物弱者に対し市主導で「御用聞きサービス」を行えないか。
答弁 消費者動向調査を行う際、市民意見を聞く予定。
意見 地元農産物などの宅配も含め、諸問題を解決し、実現することを望む。



谷戸イチョウ公園前の通り(谷戸町2丁目)

質問 市内建設業者へのさらなる保護を行えるか。
答弁 法令を遵守しながら、好循環をつくりたい。
意見 市内業者と話し合いの場を持ち、現状を把握し対応されたい。
質問 市内工業者への保護は。

答弁 融資あっせん・振興事業等への支援をしている。
意見 市内には優秀な企業が多数あるのだから、「匠のまち西東京」というようなまちづくりを考えるべきである。
質問 いこいの森公園の噴水について。
答弁 債権者に事情変更が生じたので、裁判所に保全

選択と集中の行財政改革を！
いこいの森公園の噴水再開を求む

納田 さおり(無所属)

質問 第3次行革の最大の目的は、できる限り無駄を省き財源を確実に確保することだ。カナダで成功したプログラムレビューを参考に、施策や事務事業を棚卸しし、行政の守備範囲の中で必要なものは残し不要なものはいち早く切り切っていく明確な選択と集中が求められる。取り組みは。

答弁 より広い視点から行政運営を見直し、資源の適正配分を進めるため施策単位の評価制度を実施し、予算配分に反映させていく。
質問 いこいの森公園の噴水差し止め訴訟について、相手方に事情変更が起きたと聞く。夏場を迎える今こ

取り消しの申し立てをした。
意見 子どもたちのために早急な噴水再開を望む。
質問 谷戸イチョウ公園の前と新青梅街道にバス停の設置を望む声があるが。
答弁 バス事業者へ検討するよう依頼している。
意見 市民要望の多いバス停設置の早期実現に向け、地域住民との話し合いも含め対応されたい。

質問 府中道と富士見通り交差点の安全のためには、信号機の設置が欠かせない。
質問 脳卒中の早期発見の啓発を
質問 脳卒中は、発症から3時間以内であれば救命率が格段にアップする。市としても啓発活動をすべき。
答弁 都作成のポスターを掲示しており、今後ホームページ等でも啓発していく。
聴覚障害者支援の拡充を
質問 聴覚障害者支援サービスの周知徹底、手話通訳者の配置、「耳マーク」の設置、筆談器の導入を求める。

子宮頸がん・小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める！

佐藤 公男(公明)

青梅街道、府中道の安全を
質問 青梅街道沿いの電柱が歩道をより狭くしている。
答弁 現地を確認し、都や警察に要望する。
意見 府中道と富士見通り交差点の安全のためには、信号機の設置が欠かせない。
質問 脳卒中の早期発見の啓発を
質問 脳卒中は、発症から3時間以内であれば救命率が格段にアップする。市としても啓発活動をすべき。
答弁 都作成のポスターを掲示しており、今後ホームページ等でも啓発していく。
聴覚障害者支援の拡充を
質問 聴覚障害者支援サービスの周知徹底、手話通訳者の配置、「耳マーク」の設置、筆談器の導入を求める。

答弁 効果的な方法を検討し、「耳マーク」、筆談器は導入に向けて検討する。
ワクチンの公費助成を求め
質問 子宮頸がんワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費助成を求める。
答弁 財政状況を勘案しながら医師会とも検討する。
質問 ジェネリックカートの普及
質問 ジェネリック医薬品
答弁 普及促進のため、あらゆる手段を通じ努力する。
放課後子どもプランの実施
質問 当市でも放課後子どもプラン事業を実施すべき。



IHI跡地開発の進捗状況(向台町3丁目)

風害対策 市長と職員は住民の身になって仕事を！

新井 五郎(公明)

質問 IHI田無工場跡地の進捗状況、はなバス停留所、ビル風による3月21日の事故に対する対策は。
答弁 マンションは、11月ごろから入居が開始され、病院は秋ごろから工事が開始される予定と聞いている。

はなバスの停留所は3カ所を予定。B敷地跡地がキヤノンマーケティングジャパン(株)に譲渡されデータセンターが計画されている。建物完成後に強風等による被害の相談があれば、市は丁寧に対応する必要がある。



ジェネリックカード

質問 国勢調査員の応募状況は順調か。
答弁 1千237名の募集に対して5割弱の応募状況。
質問 民生委員の空白区域をなくす努力をすべきだ。
答弁 81.6%の充足率は他市より低い。より多くの団体等に呼びかけていく。
質問 田無市民公園と向台公園のトイレ改修、公園の池と水辺づくりについて。
答弁 市民公園は、建て替え時期に合わせ調査研究する。向台公園は、本年度基本設計予定。水辺の公園は、時期に合わせ水を流す。
質問 特定健診の受診者が少な過ぎる。促進対策を。
答弁 2年連続未受診者に勧奨はがきを送付する。今年度は、医療機関の予約の有無と健診日時の詳細を一覧表にして掲載する。
質問 文化庁の伝統文化子ども教室は、当市において3団体が事業を行っているが、昨年の事業仕分けで平成23年度で事業廃止になる市独自で継続できないか。
答弁 文化芸術振興計画の策定をする中で検討する。

公費ゼロでバス停を整備し
広告収入で維持管理を！

中田 恵美子(公明)

質問 はなバスの車内アナウンスなど有料広告を積極的に行うべきだ。
また、京都市は経費節減のため、民間による広告付きバス停留所の整備に着手した。広告料収入によって、バス停の設置費や維持管理

費を賄う仕組みだ。当市も取り組むべきである。当市も
答弁 広告収入が多く得られるよう努力する。「広告付きのバス停」の設置は、広告収入増加に向け研究する。
質問 幼児2人同乗用自転車購入費助成が、昨年10月

中学校給食は来年度4月実施を！
中学校医療費を完全無料化せよ！

小幡 勝己(公明)

質問 義務教育就学児医療費の復活を強く要望する。
市長 子ども手当の地方負担もあり復活は厳しい。
質問 市民は、中学校給食の実施を4月と思っていた。9月からの実施は想定外。給食費支払いは、学期ごと

に事前納付でなく、月払いも検討すべきである。
教育長 今後、検討する。
質問 障害者の就労支援に
対し官公需発注を配慮するよう厚労省の通知があった。本市の取り組みは。
市長 発注の機会をふやす

よう努力したい。
質問 要望した高齢者・障害者が休める「街なかベンチ」設置状況は。
市長 10基設置予定。
質問 高齢者が多く利用する公民館のトイレ洋式化、バリアフリー化、冷暖房空調設備の充実を求める。
教育長 計画的に行う。
質問 不登校の児童生徒が通うスキップ教室の拡充と

環境整備の充実をせよ。
教育長 一層充実を図る。
質問 コンビニ内の郵便ポストを近隣に周知徹底すべきで、案内表示も必要だ。
市長 事業者に伝えたい。
質問 視覚障害者、音声認識コードの普及促進をせよ。
市長 調査研究する。
質問 ペットボトルキャップ回収のさらなる周知を。
市長 市として検討する。